

小野薬品社会貢献グローバルポリシー

当社は「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、医学・薬学の発展はもとより、「良き企業市民」として、社会の持続的な発展に貢献します。現在および将来の事業活動との関連性や自社の経営資源を考慮し、当社が注力すべき重点分野を決めたうえで以下の「小野薬品社会貢献グローバルポリシー」を制定しています。会社と社員の協力のもと、志を同じくするステークホルダーとパートナーシップを組み、この「小野薬品社会貢献グローバルポリシー」に基づいてさまざまな社会貢献活動を行っています。

- 医学・薬学の発展に貢献します。
- 患者さんとその家族の健康に貢献します。
- あらゆる生命の存続に資する環境保全に貢献します。
- 子どもたちの健康につながる教育に貢献します。
- 医療環境の整備に貢献します。

医学・薬学の発展のための取り組み

当社は、いまだ満たされていない医療ニーズに応え、医学・薬学の発展に寄与する取り組みを行っています。

財団を通じての研究助成

当社は、医学・薬学の発展のため公益財団法人に寄付や研究助成を行っています。

公益財団法人小野医学研究財団

本財団は、脂質代謝異常の分野に関する研究助成を行うほか、各種事業を通じて、当分野の治療や研究の振興を図り、国民の健康と福祉に貢献しています。設立以来毎年、研究助成および研究奨励助成を行っています。

＞ 詳細は「公益財団法人小野医学研究財団」のホームページをご覧ください。

ONO Pharma Foundation

本財団は、特定の科学研究分野における創造的なアイデアを持つ科学者の主任研究員（「PI：Principal Investigator」）を支援することを目的にしています。研究助成を通じて、患者さんの画期的な治療につながるイノベーションの支援、若手研究者の研究促進等に貢献しています。

＞ 詳細は「ONO Pharma Foundation」のホームページ（英語）をご覧ください。

公益財団法人「小野薬品がん・免疫・神経研究財団」

2022年度に設立した本財団では多くのアンメットメディカルニーズが残るがん・免疫・神経の領域において、画期的な研究成果（Breakthrough）に繋がる最先端の科学・研究者を支援することによって世界の人々の健康に貢献することを目指しています。

＞ 詳細は「公益財団法人 小野薬品がん・免疫・神経研究財団」のホームページをご覧ください。

公益社団法人日本生化学会「早石修記念海外留学助成」

生命科学全般に関わる生化学研究に意欲的な研究者の海外留学のための新事業「早石修記念海外留学助成」に対し、2017年度から支援を行っています。

＞ 詳細は公益社団法人日本生化学会「早石修記念海外留学助成」のページをご覧ください。

患者さんとその家族のための取り組み

当社は患者さんやその家族をはじめとして、広く人々の健康に貢献するために、さまざまな活動に取り組んでいます。今後も人々の健康の一助になるさまざまな活動を継続して行っています。

医療情報の発信

コンテンツやアプリを通じ、継続的に医療に役立つ最新の情報を発信しています。また、疾患啓発や正しい情報の提供を目的とした疾病関連の市民公開セミナーへの協力・開催を行っています。2024年度はリウマチ、慢性腎臓病などの領域を中心に7回のセミナーを実施し、約900名の方に参加いただきました。

提供コンテンツとアプリ	取り組み内容
「ONO MEDICAL NAVI 患者さんご家族の皆さまへ」	身近な病気についての主な症状や検査方法を、ウェブサイトにより分かりやすく紹介するために、内容とデザインを一新しました。また、患者さんが健康で充実した生活を送れるよう、全国のウォーキングマップやプランター菜園など、健康状態に合わせて楽しく体を動かせる情報もご用意しています。
「ONO ONCOLOGY (一般・患者さん向け情報)」	がんの病気や治療、がん免疫について紹介するウェブサイトを通して、月間約15万人に情報を発信しています。また、ヤングケアラーの経験者とスクールソーシャルワーカーの対談や、AYA世代でがんを経験した夫婦のインタビューなど、がん患者さんやその家族が直面する社会的な問題や支援の必要性に関する情報も新しく更新しています。
「ふくサポ®」 (副作用管理支援デジタルツール)	免疫チェックポイント阻害薬で治療を受けている患者さんのセルフケアの向上、副作用の早期発見の手助けとなるふくサポアプリを無償提供しています。患者さんが、日々の体調や副作用を管理アプリに記録することができるほか、医療機関に連絡した方が良いと考えられる症状がある場合、スマートフォンの画面上でアラートを表示します。また、ご家族の方などと記録内容を共有することも可能です。
「バアちゃんの世界」	認知症啓発ショートムービーを提供しています。

リレー・フォー・ライフへの参加

2014年度から、社会貢献活動の一環として[リレー・フォー・ライフ](#)（RFL）に参加しています。リレー・フォー・ライフは、日本対がん協会とリレー・フォー・ライフの全国実行委員会が実施しているチャリティ活動であり、がんと向き合い、がん征圧を目的として、全国で実施されています。当社は研究所や工場、営業所所在地エリアの開催場所を中心に、社員が継続して参加しています。2020年度から2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くのエリアで開催が縮小・中止されましたが、2023年度からは各地での参加を本格化し、2024年度は、全国17か所の会場に計279名の社員が参加しました。

2022年度から、リレー・フォー・ライフの会場に設置した当社のブースにおける新たな活動として「メッセージフラッグ」を始めました。参加者の皆さんに当社社員に伝えたい想いを「メッセージフラッグ」に綴っていただくことで、参加者の皆さんとのコミュニケーションにつながっています。今後もリレー・フォー・ライフを通じて、がん患者さんとそのご家族への支援を継続していきます。



スポーツを通じた長期療養児の支援



数カ月、数年、あるいはそれ以上の療養生活を送る長期療養児が日本全国に約25万人いるとされています。長い入院、辛い治療。そのために同世代と同じ経験ができないまま年齢を重ねていく子どもたちが多くいます。当社は、そんな子どもたちに寄り添い「長期療養を必要とする子どもたちに最高の子ども時代「青春」を実現するTEAMをつくる」活動を進めている認定NPO法人「[Being ALIVE Japan](#)」を支援・協働しています。2024年はBeing ALIVE Japanが開催した長期療養児を対象とした5つのスポーツイベントの開催に協力し、計50名の社員がボランティアとして参加しました。

10月には兵庫県神戸市・しあわせの村で、2回目となる「TEAMMATESスポーツキャンプ関西」が当社単独支援により開催されました。1泊2日の日程で開催されたスポーツキャンプには6家族が参加され、子どもたちは大学の運動部やプロのアスリートによる手ほどきを受けながら空手、ラクロス、ラグビーやカーリングなど様々なスポーツに取り組みました。当社からは22名のボランティアが参加し、スポーツの補助やご家族のサポートを行いました。また、このスポーツキャンプでは、薬を作る際の工夫を知り、薬に対し興味を持ってもらうことで薬との付き合い方が変わることを期待し、当社の独自企画「薬のヒミツ・マナブ」も開催しました。白衣姿で実験に望んだ子どもたちは、錠剤を溶かす実験で薬が溶けていく様子を興味深く観察していました。



子どもたちの笑顔が溢れるスポーツキャンプのダイジェスト動画



認定NPO法人Being ALIVE JapanのWebサイトは[こちら](#)



認定特定非営利活動法人

Being ALIVE Japan

闘病中の子どもたちへのスノーギフト

当社は2014年度より、病気とたたかう子どもたちのための夢の医療ケア付キャンプ場を運営する公益財団法人「[そらぶちキッズキャンプ](#)」（北海道滝川市）を賛助会員として継続的に活動をサポートしています。

2021年度からは、キャンプ場のさらさらの新雪を箱に詰め、雪の降らない地域の医療機関に入院中の子どもたちに届けて雪遊びを楽しんでもらう「スノーギフト」へのサポートを行っています。病院内でのスムーズな荷物の受け渡しができず、箱詰めの雪がとけてしまうケースがあったため、日頃から病院に訪問・活動している当社MR（医薬情報担当者）が宅配業者から荷物を受け取り、医療機関の担当者へ直接「新雪」を届ける「雪運びボランティア」としてお手伝いしています。

2025年1月～2月にかけて、当社のMRが全国14施設の医療機関の担当者に「そらぶちキッズキャンプ」からのスノーギフトを手渡しで届け、雪に触れる機会のない入院中の子どもたちに雪遊びの楽しさをプレゼントすることができました。後日、雪遊びをした子どもたちや保護者、医療スタッフから喜びの声や手紙が届けられ、参加した社員からは、「楽しさ（雪）を届ける」お手伝いができてよかったとの感想が寄せられました。



ワールドキャンサーデーの支援

ワールドキャンサーデーは、2000年2月4日にパリで開催された「がんサミット」を起源とする、UICC（国際対がん連合）のグローバルな取り組みです。この日は、世界中の人々が、がんという共通の敵に対して共に考え、約束を交わし、そして具体的な行動を起こすための重要な機会となっています。

小野薬品グループでは2024年10月～11月に、海外法人を含む全社員とその家族を対象に、健康増進と社会貢献を目的にウォーキングキャンペーンを実施しました。このキャンペーンでは、参加者数および合計歩数の目標に応じてワールドキャンサーデーを支援することとしました。結果として、グループ全体で約3,600人が参加し、がん患者さんを想い、一丸となって歩きました。その想いがワールドキャンサーデー2025の支援につながりました。

（参照）

＞ [ワールドキャンサーデーについて](#)

＞ [小野薬品、ワールドキャンサーデー2025に協賛](#)



がん患者さんの支援（米国）

マサチューセッツ州にある森と庭園に囲まれた施設ヒーリングガーデンでは、がんに影響を受けたすべての人々に対して、マッサージ療法、音楽療法など生活の質を向上させるためのストレス軽減のプログラムが提供されています。2024年5月、ONO PHARMA USAの社員がヒーリングガーデンを訪問し、利用者が快適に過ごせるよう、心を込めて施設と庭園を清掃するボランティア活動を実施しました。また、血液がんと闘う人々を称え、連帯を示すためにランタンを掲げて歩くチャリティイベント「[Light The Night](#)」には2022年から、そして血液がんの治療研究を支援するためのチャリティーラン／ウォーク「[ASH Foundation Run/Walk](#)」には2021年から継続して参加しています。



小児がんの子どもたちとそのご家族の支援（韓国）

韓国小野薬品では、2019年から小児がんNGO団体「[ハンビット愛の後援会](#)」を支援しています。ソウル市内にある当団体が運営する「ハンビット愛ハウス」は、入院や通院の際に長距離移動を必要とする小児がんの子どもたちとそのご家族が利用できる滞在施設です。2024年度は韓国小野薬品の社員が家族とともに、病気と闘う子どもたちが病気を乗り越えられるようにとクリスマスの贈り物を考えました。さらに、想いを込めて作成した手紙やイラスト、ビデオメッセージを添えてハンビット愛ハウスに贈りました。



献血への取り組み

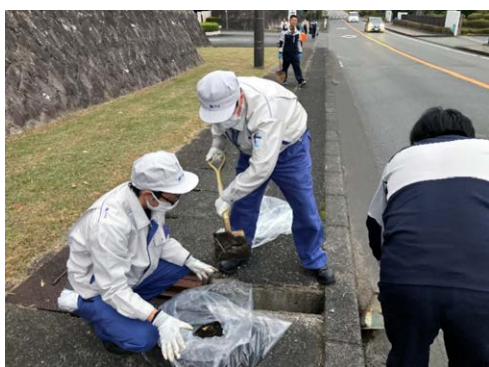
当社は、日本赤十字社の献血活動に積極的に協力しています。2024年度は水無瀬研究所、フジヤマ工場、山口工場および本社において、献血バスによる団体献血を実施しました。また、本社では併せて骨髄ドナー登録受付も実施しました。

あらゆる生命の存続に資する環境保全

当社の事業活動が自然に依存し、自然に影響を与えていることを認識し、生物多様性や気候変動などの環境課題の解決に向けて取り組んでいます。また、各事業所の従業員による事業所周辺の清掃活動や近隣で実施される清掃活動への積極的な参加を通じ、環境保全に貢献するとともに地域社会との共生を図っています。

各事業所における取り組み

フジヤマ工場では、地域環境に配慮した活動として、定期的に工場敷地の外周を清掃するとともに、富士宮市各自治会の清掃活動「ごみ一掃作戦」および「富士宮市清掃運動」で使用するゴミ袋を提供しています。



フジヤマ工場での清掃活動



提供ゴミ袋

山口工場では、有志を募り、工場周辺で開催された榎野川の清掃活動「ふしの川水系クリーンキャンペーン」に参加し、地域環境の美化に協力しました。



榎野川清掃活動（7月実施）



本社および城東製品開発センターでは、毎年、大阪市が主催する市内一斉清掃キャンペーン「大阪マラソン」クリーンUP”作戦」に参加しています。2025年1月と2月の清掃活動では、100名を超える社員が参加して、事業所周辺を清掃し、一般ゴミ、プラスチック類、缶、ペットボトル等、合計15キログラムを超えるゴミを集め、分別廃棄しました。



大阪マラソン“クリーンUP”作戦

筑波研究所では、筑波北部工業団地企業連絡協議会に加盟しています。北部工業団地内の美観を保つため、加盟企業による年2回の一斉清掃に参加しています。



筑波北部工業団地内の清掃活動

水無瀬研究所では、全国名水百選に選ばれている水無瀬神宮境内の「離宮の水」保存会に加入しています。後世に名水を継承するため、保存会が主催する年2回の一斉清掃に参加し、水汲み場および手水舎周辺を清掃しました。



台湾小野薬品の取り組み

台湾小野薬品では、2025年1月に新北市にある観音山の清掃活動を行いました。観音山はハイキングやレジャーで人気の観光地で、近年、訪問者の増加に伴い、不法投棄やゴミのポイ捨てが増加しています。清掃活動には全社員が参加し、合計約12キログラムのゴミを拾い集め、観音山の美化に貢献しました。



子どもたちの健康につながる教育

当社は、未来を担う子どもたちの育成を支援するための教育活動に積極的に取り組んでいます。

理科の出張授業（薬のヒミツ・マナブ）

理科の学習や実験、ならびに薬への興味関心を高めることを目的として、小学校6年生を対象に薬をテーマとした出張授業を行っています。出張授業は、水無瀬研究所の近くにある島本町立第三小学校においては2015年度から、城東製品開発センターに隣接している宝栄小学校においては2019年度から実施しています。どんな人が研究に携わっているのかを子どもたちに身近に感じてもらうため、講師および実験サポートスタッフは、全て当社の研究員が担当しています。授業実施後、児童からは、新薬が患者さんに届くまでに長い年月がかかることや、薬に様々な工夫が詰まっていることへの驚きのほか、「将来、研究者を目指したい」などの声もあり、出張授業が子どもたちに将来の職業を考えるきっかけになっていることを嬉しく思っています。参加した当社スタッフにとっても、地域社会とのつながりの重要性を再認識するとともに、児童の反応を直に感じることで研究者としての初心を思い出すなど、貴重な体験となっています。

年度ごとの参加人数	2022年度	2023年度	2024年度
児童	123名	137名	114名
講師・実験サポートスタッフ	24名	28名	24名
事務局スタッフ	8名	6名	8名

なお、出張授業実施後に、児童と先生、当社スタッフにアンケートを実施し、次年度以降のプログラム改善に活用しています。



宝栄小学校での理科の出張授業



島本町立第三小学校での理科の出張授業



高等学校でのがん教育に対する取り組み

文部科学省の学習指導要領改訂により、2022年度から高等学校においても「がん教育」が本格的にスタートしました。当社は、がん治療薬の研究開発、製造、販売を通じて人々の健康への貢献に取り組む製薬企業として、高校生にがんの正しい知識を身につけてもらえるよう、高等学校での「がん教育」に関する取り組みへのサポートを行っています。高等学校での出張授業は2022年度に2校、2023年度と2024年度は各3校で実施しました。

当社のがん教育に関する取り組みについては、[こちら](#)をご覧ください。



歯ブラシの寄贈

子どもたちの適切な口腔衛生習慣の定着促進に貢献するため、「歯と口の健康週間（6月4～10日）」にあわせ歯科用品の研究開発・製造販売業を営む当社子会社（株）ビーブランド・メディコーデンタル社の歯ブラシおよび歯磨き剤を寄贈しています。地域と企業が共に発展することを大切にし、活動を継続していきたいと考えています。

所在地	対象	開始年	当社関連拠点
大阪府 島本町	小学校・幼稚園・保育所	2014年	水無瀬研究所
大阪市 東成区	宝栄小学校	2018年	城東製品開発センター



一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季主催の「こころの劇場」への協賛

当社は一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季が主催する児童招待公演「こころの劇場」の趣旨に賛同し、関西ブロック公演への協賛を行っています。「こころの劇場」は、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で最も大切なことを、舞台を通じて子どもたちの心に語りかけることを目的に、日本全国の子どもたち（主に小学6年生）を劇場に無料招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトです。新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年～2022年は動画配信で実施されましたが、2023年には3年ぶりに劇場での招待公演が再開され、2024年度もたくさんの子どもたちが劇場で観劇しました。



2024年ファミリーミュージカル『ガンバの大冒険』